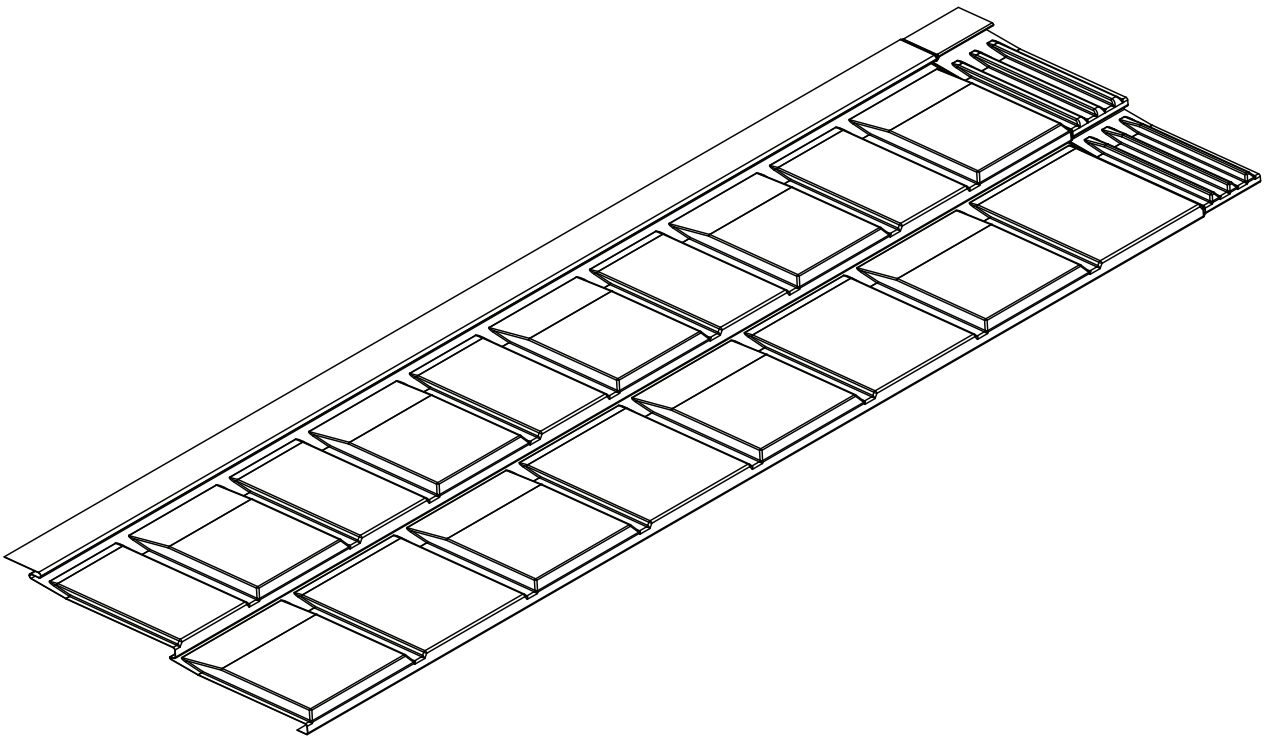


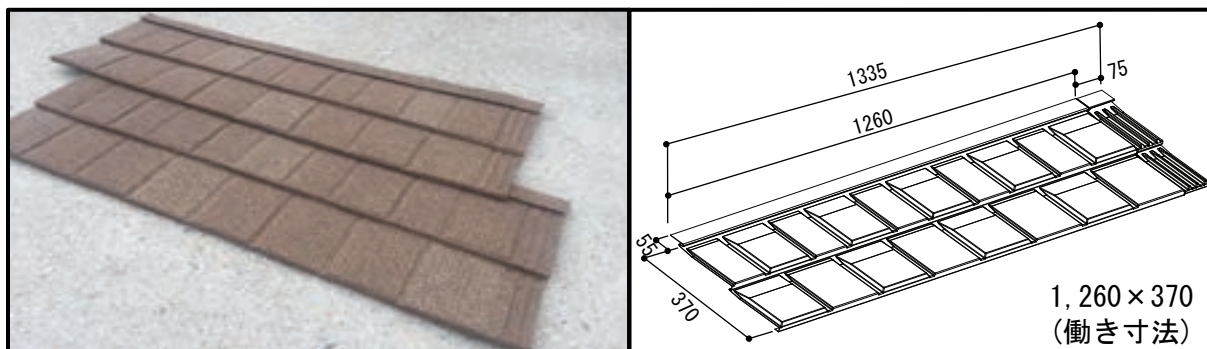
CFシングル標準施工マニュアル



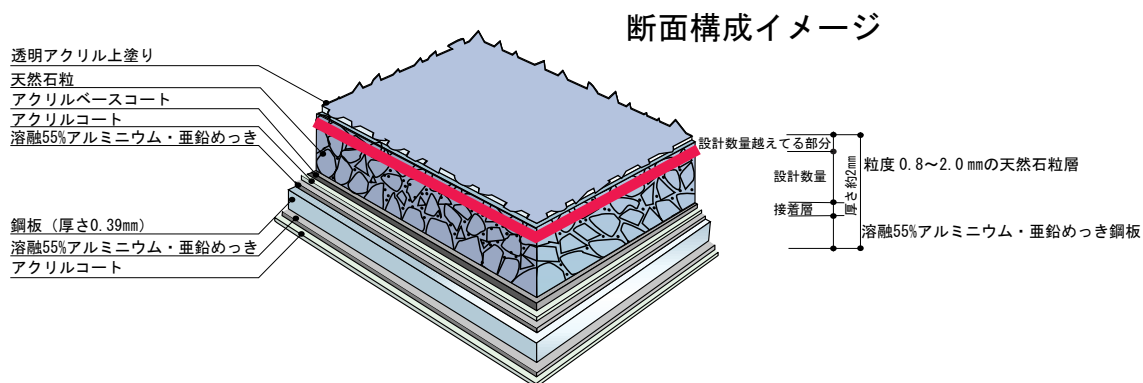
この施工マニュアルでは、ルーフトイルグループジャパンが推奨する標準的な施工方法を説明しています。
特別な環境で施工をする場合には、ルーフトイルグループジャパンまでご相談ください。

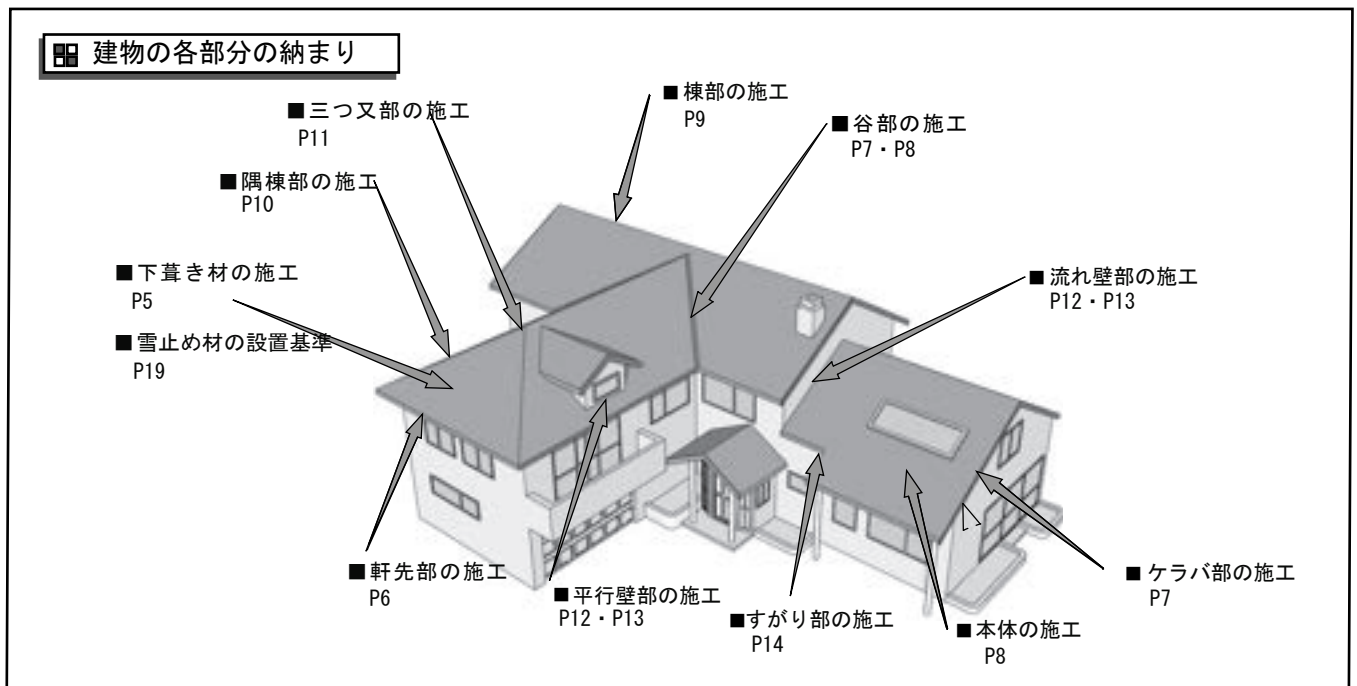


CFシングル



項 目		仕 様
基 材	素材	ガルバリウム鋼板
	構成	溶融55%アルミニウム-亜鉛合金メッキ
	厚さ	0.39mm
表 装	接着層	アクリル系接着剤
	石粒層	天然石粒
	保護層	透明アクリル被膜
製品寸法	全長	1335mm
	働き長さ	1260mm
	全幅	425mm
	働き幅	370mm
	働き面積	0.466m ²
	面積当り所要枚数	2.15枚/m ²
	重さ	2.9kg/枚
	面積当り重量	6.25kg/m ²
不燃認定番号		NE-0056

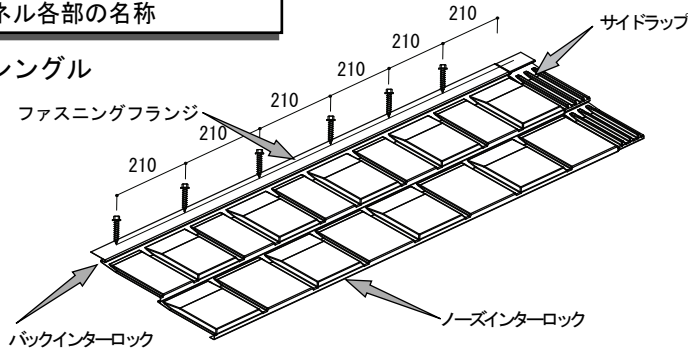




■ CFタイル主要諸元	1	ページ
■ CFシングルについて	2	
■ 部材リスト	3-4	
■ 下地について	5	
◇ 下葺き材		
◇ 下地の仕様		
■ CF軒先水切の取り付け	6	
◇ 一般部		
◇ 隅棟部		
◇ 谷部		
■ CFケラバ水切り・CFケラバカバーの取り付け	7	
■ CF本谷の取り付け	7	
■ CFタイル切断方法	8	
◇ CFケラバ部		
◇ 隅棟部		
■ 棟の施工（換気棟なしの場合）	9	
■ 棟の施工（換気棟ありの場合）	9	
■ 隅棟の施工	10	
◇ 標準施工		
◇ オプション施工		
■ 三つ又部の施工	11	
■ 平行壁部・流れ壁部の施工（標準納め）	12	
■ 平行壁部・流れ壁部の施工（オプション納め）	13	
■ すがり部の施工	14	
■ 各部詳細図（新築用）	15-16	
■ 各部詳細図（リフォーム：カバー工法用）	17-18	
■ 雪止め金具について	11	
■ 参考納め	別紙 1 別紙 2	

☒ パネル各部の名称

CFシングル



☒ CFタイルの特性

☐ CFタイル（本体）の特性

- * CFシングルはスレートタイルに次ぐ、取付けビス隠ぺいシステムとしてデザインされています。（以下CFタイル）
ファスニングフランジ（ビス打ち部）に専用ビスで固定し、バックインターロック部に上図のノーズインターロック部をかみ合わせることで従来品より耐風性、水密性を向上し、同時にビスを隠すことができます。（必ず専用ビスをお使いください）

☐ 屋根材の材質

- * 基材はAS1397に定められた鋼板に、ガルバリウム（溶融55%アルミニウム・亜鉛合金）をコーティングした鋼板です。

☐ 金属の腐食

- * 金属の腐食（異種金属接触腐食）を防ぐため、CFタイルを施工する際に、イオン化傾向の異なる金属を接して使用することは避けてください。

☐ 天然石コーティング

- * CFタイル表面の石粒の小さな剥がれ等は、タッチアップキットで補修することができます。スプレー式のカラーペイントは使用しないでください。

☒ 設計上の注意点

☐ 野地板

- * 野地板には、構造用合板12mm厚以上を使用することをお勧めします。

☐ 下葦き材

- * 下葦き材はJIS A 6005に適合するアスファルトルーフィング940以上又は、アスファルトルーフィング工業会規格の改質アスファルトルーフィング以上の性能を有する下葦き材の使用を推奨します。
- * 多雪地区の低勾配屋根、リフォームカバー工法には片面粘着の下葦き材の使用を推奨します。

☐ 屋根の勾配

- * CFシングルは“1.7寸”勾配以上の屋根に施工することができます。

☐ 小屋裏の換気

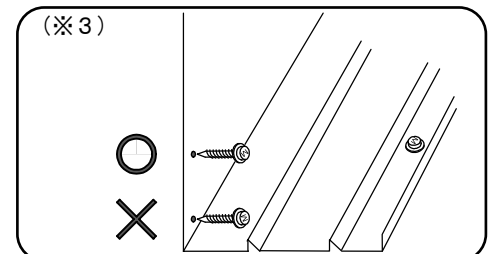
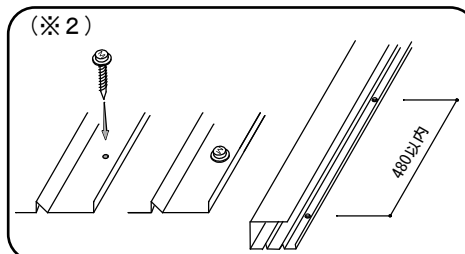
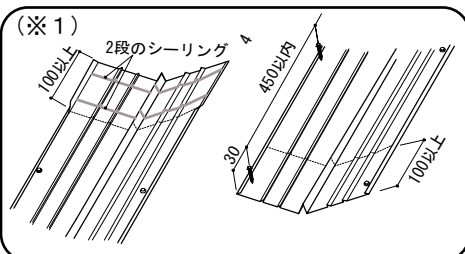
- * 規定された有効換気面積を確保することをお勧めします。

☒ 保管上の注意点

- ☐ CFタイルを野外で一時保管する時は耐候性カバーで覆うか、または雨がつかからず湿度の低い「屋内」に保管してください。

☒ 施工上の注意点

- ☐ CFタイルを葦き始める前に必ず割付の確認を行ってください。（P10参照）
- ☐ 労働安全衛生法に留意し、屋根上では安全に作業を行ってください。
- ☐ 切断は専用カッター、板金鉋等での切断を推奨しますが、電動丸鋸で切断をする時は、必ず裏面から切断してください。
- ☐ 雨などで屋根面が濡れている場合は施工しないでください。滑落の恐れがあります。
- ☐ 葦き上がった屋根には物を置かないでください。
- ☐ 下葦き材の上に屋根材を置く時は滑り落ちないように固定して下さい。
- ☐ 取付ビスの間隔（210mm以内の間隔）は太陽光パネルが付く付かないにかかわらず必ず守ってください。
- ☐ CFタイル専用ビス頭部はインチ規格ですので、必ず専用ソケットをお使い下さい。
- ☐ 新築では専用ビス25mmを使用し、カバー工法では専用ビス38mmを使用することを原則とします。
- ☐ ケラバ水切り、壁水切りなど役物のジョイント部には100mm以上の重ね代を設け、その中に二段のシーリング材を挟み込み重ねてください。
- ☐ 本谷の取付は、専用ビスを使い直接本谷へ450mm以内のピッチで取り付けて下さい。（※1）
- ☐ ケラバ水切り、流れ壁の専用役物の取り付けには専用ビスを使い、480mm以内のピッチで外側の溝に直接浮き上がらない様に留めつけて下さい。（※2）
- ☐ 壁水切りののり上げ方向へ専用ビスを打ち込む場合は出来るだけ高い位置に打ち込んで下さい。（※3）

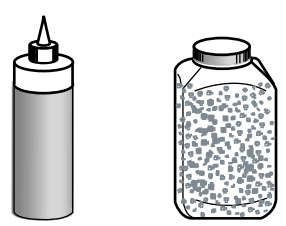
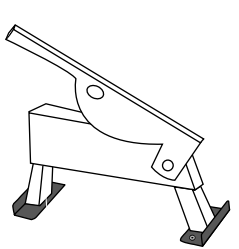
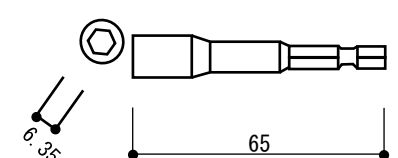

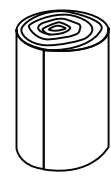
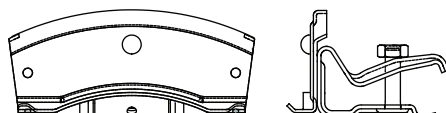
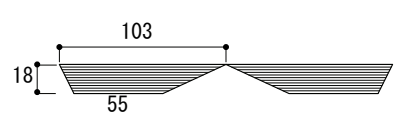


★印：石粒付ガルバリウム鋼板0.39mm ☆印：ガルバリウム鋼板0.39mm

<p>CFシングル (本体)</p> <p>1,260×370 (働き寸法)</p>	<p>CF軒先水切り (標準仕様902)</p> <p>L=2,000 石無し軒先スターター ☆</p>	<p>シングル軒先水切り (オプション409)</p> <p>L=2,000 石付 ☆</p>
<p>CFケラバカバー (標準仕様903)</p> <p>L=2,000 石付 ☆</p> <p>ケラバ用</p>	<p>CFケラバ水切り (標準仕様905)</p> <p>L=2,000 塗装品 ☆</p> <p>ケラバ用</p>	
<p>通し棟包み (標準仕様405)</p> <p>L=2,000 石付 ☆</p> <p>棟・隅棟用</p>	<p>棟捨板 (標準仕様406)</p> <p>L=2,000 無塗装 ☆</p> <p>棟・隅棟用</p>	<p>シングル棟換気カバー (オプション407)</p> <p>L=2,000 石付 ☆</p> <p>棟換気用</p>
<p>CF寄棟水切り (オプション904)</p> <p>L=2,000 石無し ☆</p> <p>隅棟用</p>	<p>CF壁用雨押え (標準仕様122)</p> <p>L=2,000 石付 ☆</p> <p>壁 (流れ・平行) 用</p>	<p>シングル雨押え (オプション408)</p> <p>L=2,000 石付 ☆</p> <p>壁 (流れ・平行) 用</p>
<p>CF本谷 (標準仕様906)</p> <p>L=2,000 塗装品 ☆</p>	<p>壁用水切り (標準仕様227)</p> <p>L=2,000 塗装品 ☆</p> <p>流れ壁用</p>	<p>CFショートコース (標準仕様901)</p> <p>L=2,000 塗装品 ☆</p> <p>働き調整用</p>
<p>専用ビス25mm</p> <p>頭部塗装</p>	<p>専用ビス38mm</p> <p>頭部塗装</p>	<p>シングル差し棟 (オプション400)</p> <p>L=270 石付 ☆</p> <p>棟・隅棟用</p>

★印：石粒付ガルバリウム鋼板0.39mm

☆印：ガルバリウム鋼板0.39mm

補修キット	専用カッター (オプション)	専用ファスナー用ソケット
 <p>接着剤 ストーンチップ</p>		<p>専用ファスナー (別売) (国産品)</p>  <p>※6.35mm=1/4インチ (インチ規格です)</p>
シールテープ (30×30)	CFテープ (オプション)	CF雪止め金物 (オプション)
<p>L=2,000 接着面付き EPDM (国産品)</p>  <p>棟・隅棟・壁 (流れ・平行) 用</p>	<p>防水プチルテープ (輸入品) (150mm幅×25m)</p>  <p>棟・隅棟・壁 (流れ・平行) 用</p>	<p>(国産品)</p>  <p>設置基準についてP13参照</p>
棟換気材 (18×103)		
<p>L=1,820 (国産品)</p>  <p>高耐候ポリプロピレン樹脂製 有効開口 (換気) 面積: 287cm²/m 522cm²/本</p>		

■ 施工材料 (現場調達品)

下葦き材

- * 下葦き材はJIS A 6005に適合するアスファルトルーフィング940以上又は、アスファルトルーフィング工業会規格の改質アスファルトルーフィング以上の性能を有する下葦き材の使用を推奨します。
- * 下葦き材の固定は、新築時は専用タッカー、リフォーム時は板金材の端材等を (30×30位) を利用し釘等で固定して下さい。
- * 多雪地域の低勾配屋根は片面粘着の下葦き材の使用を推奨します。
- * カバー工法アスベスト飛散防止、に片面粘着の下葦き材の使用を推奨します。

シーリング

- * 施工時に使用するシーリング剤は外部用のウレタン系シーリング又は、変性シリコン系を使用し、捨板のジョイントはシリコン系シーリング材の市夜を推奨します。

棧木

- * 施工に使用する木材は、防腐処理済棧木又は、樹脂木の使用を推奨します。

木ビス・釘

- * 適所に使い分けて下さい。(ステンレス製のビス、釘の併用は不可です)

■ 施工工具

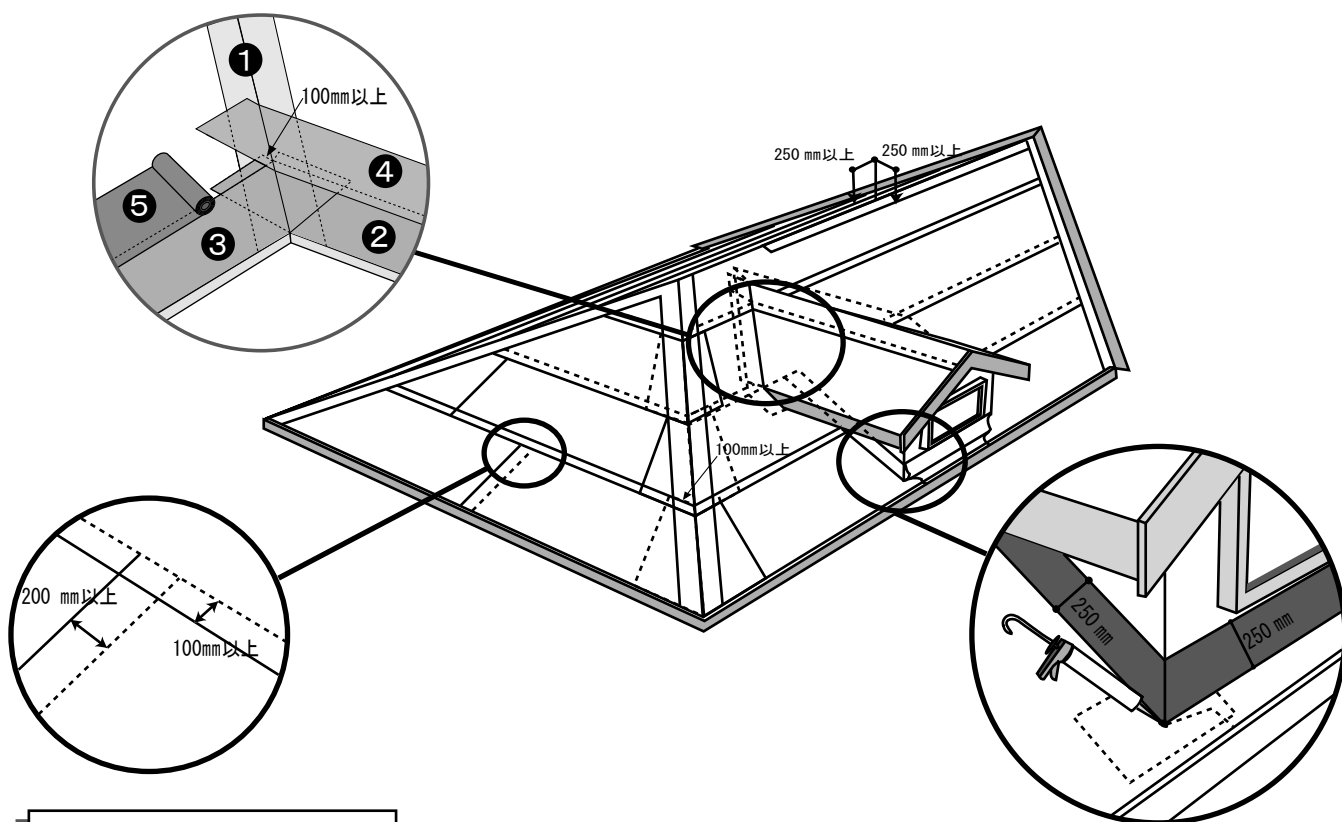
- | | | | | |
|--------------|----------|--------|-------------|--------|
| * インパクトドライバー | * 板金用はさみ | * ツカミ | * 差し金 | * バール |
| * チョークライン | * シーリング材 | * スケール | * 金槌 (ハンマー) | * タッカー |
| * ヘルメット | * 保護手袋 | | | |

下葺き材

- ・軒先部 CF軒先水切り先端まで重ねて下さい
- ・ケラバ部 ケラバ端部まで施工して下さい。(下図参照)
- ・一般部 流れ方向100mm以上 桁方向 200mm以上の重ね
- ・棟部 250mm以上の重ね
- ・谷部 谷部の全長に捨貼りした上から、水上谷芯から100mm以上伸ばし葺く
- ・壁部 立上げ250mm以上
- ・隅棟 水上隅棟芯から100mm以上伸ばし葺く

* 下葺き材はJIS A 6005に適合するアスファルトルーフィング940以上又は、アスファルトルーフィング工業会規格の改質アスファルトルーフィング以上の性能を有する下葺き材の使用を推奨します。

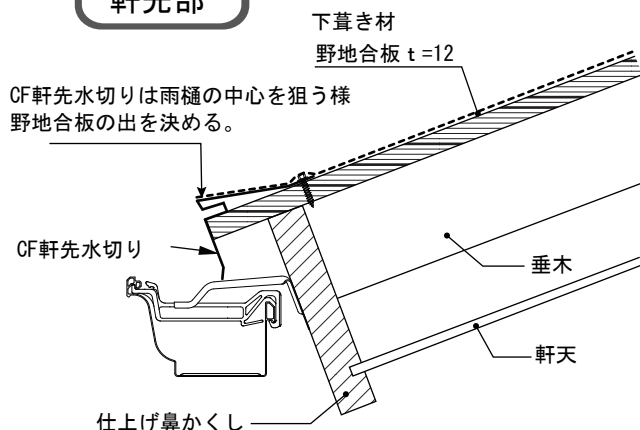
* 多雪地区の低勾配屋根、リフォームカバー工法には、片面粘着の下葺き材の使用を推奨します。



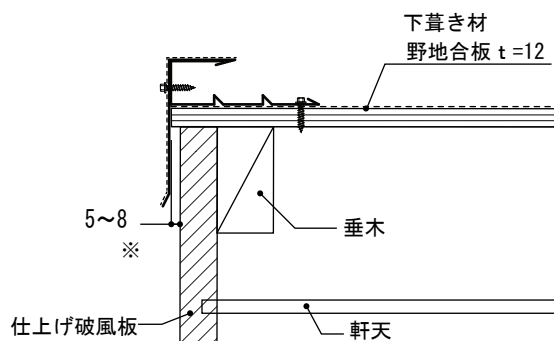
下地の仕様

※ 参考図(新築)

軒先部



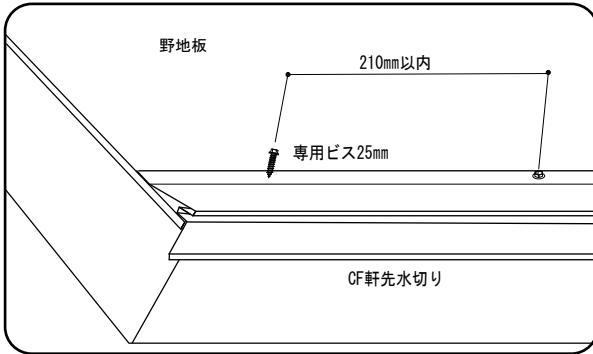
ケラバ部



※仕上げ破風板を上部まで塗装する場合は30mm以上を推奨します。

■CF軒先水切りの取り付け

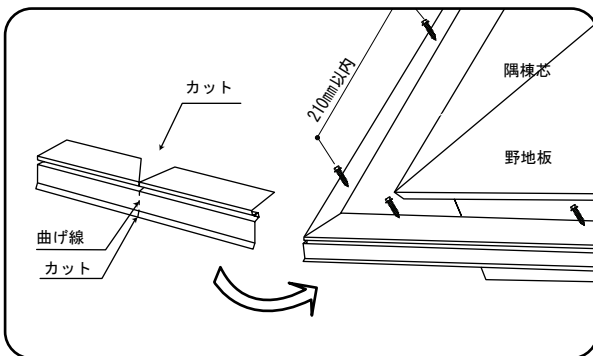
【一般部】



- ・下葺き材を葺く前にCF軒先水切りを専用ビス25mmで先に取り付けて下さい。(210mm以内)

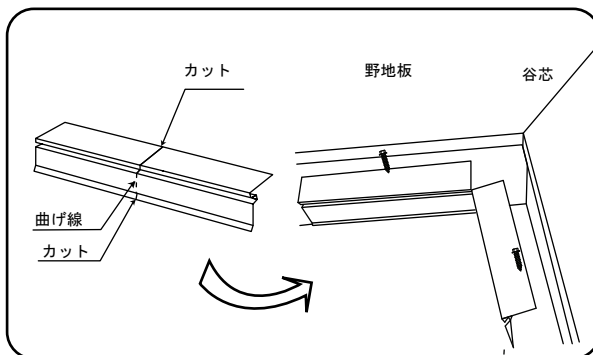
注2 法令条例等の防火の規制がある場合は、市販品又は製作品のCF野地板キャップを先に、取り付けて下さい。

【隅棟部】



- ・隅棟芯を確認の上、軒先水切りの、図の部分をカットし、折り曲げた後、野地合板に取り付けて下さい。

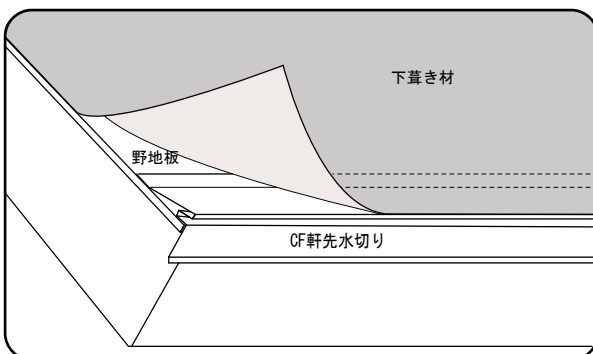
【谷部】



- ・谷芯を確認の上、CF軒先水切りの、図の部分をカットし、おり曲げた後、野地板に固定して下さい。
- ・CF軒先水切りのジョイント部は、シーリング処理をした上で30mm重ねて取り付けて下さい。

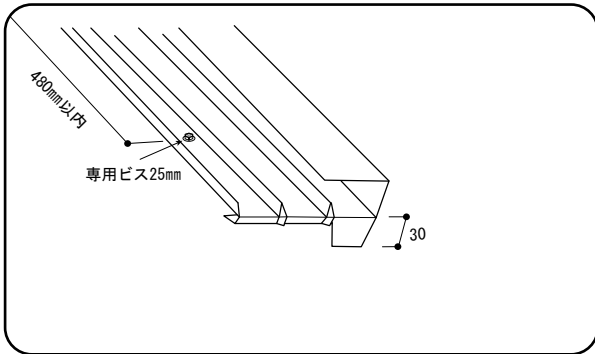
※強い勾配屋根や、鼻隠しの納め方により切り離して取付可能です。

■下葺き材の取り付け

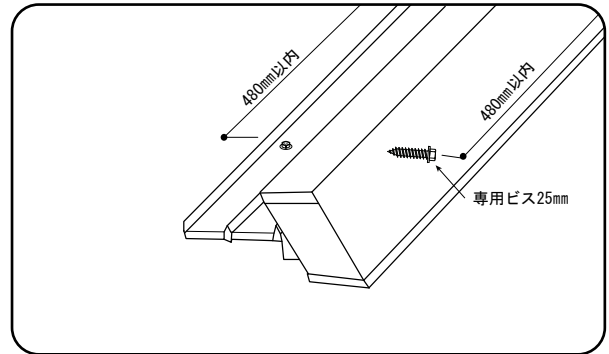


- ・CF軒先水切り設置後、下葺き材を葺いて下さい。

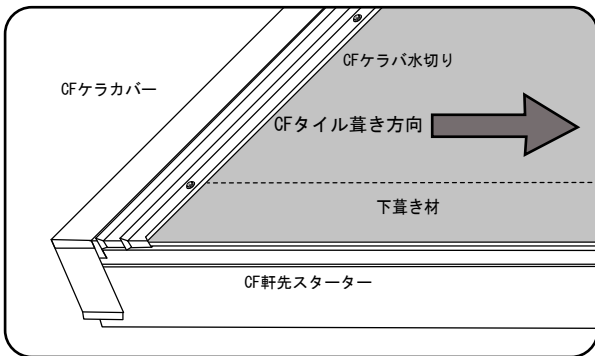
■CFケラバ水切りの加工



■CFケラバカバーの加工



■CFケラバ水切り・CFケラバカバーの取り付け

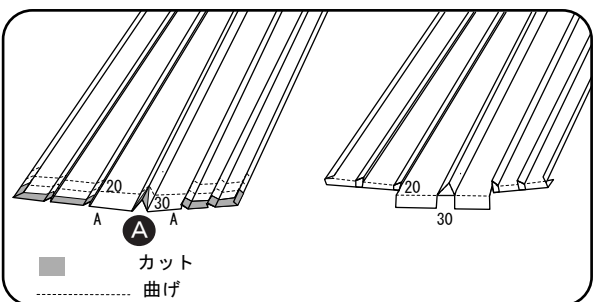


- ・CF軒先水切りを取り付け後、下葺き材を葺いて下さい。CFケラバ水切りを加工し、専用ビス25mmで取り付けて下さい。
- ・CFケラバカバー先端を加工し取付けて下さい。(専用ビス25mmは480mm以内)
- ・CFタイルはCF軒先水切りに引っ掛けて左から葺き始めて下さい。

※葺き始める前に、葺き始め、葺き終わりには250mm以下のCFタイルが入らない様に、割付の確認を先に行ってください。

CF本谷の取り付け

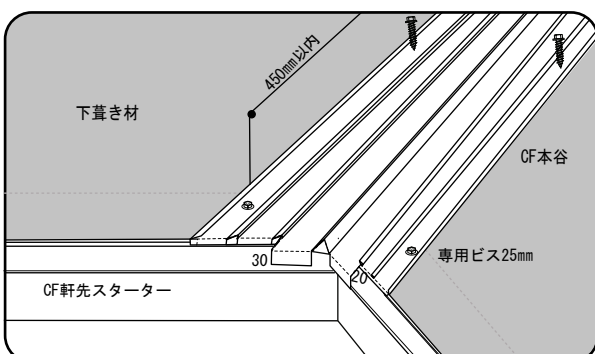
■CF本谷の加工



- ・CF本谷の谷芯付近のAの部分はCF軒先スターターより20mm位出すように加工して、他の部分はCF軒先スターターに巻き込んで取り付けて下さい。

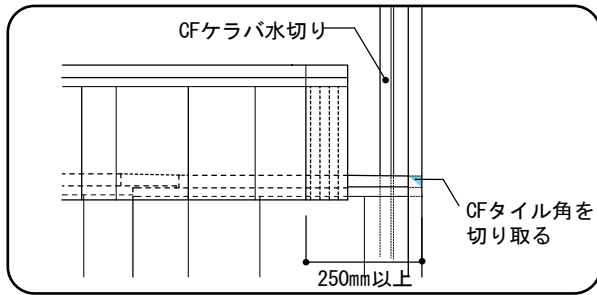
Ⓐ 三角部分を蓋を作り塞いでください。

■CF本谷の取り付け



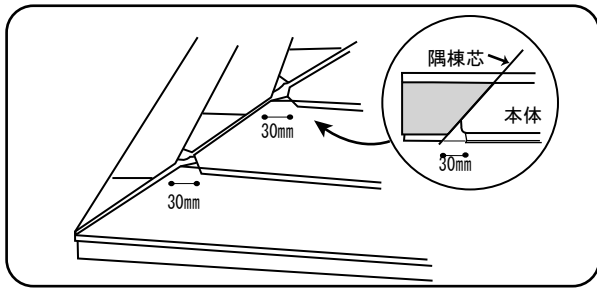
- ・CF軒先スターター取付後、下葺き材を葺いて下さい。後に加工済みCF谷板を専用ビス25mmにて取付けて下さい。(専用ビス450mm以内)

■CFケラバ部

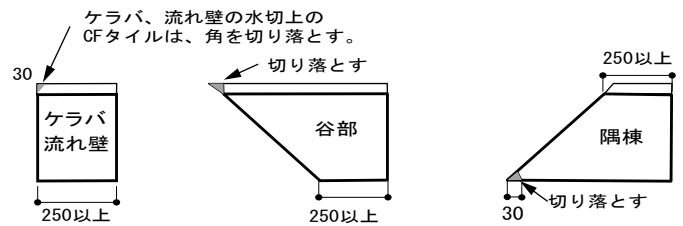


- ・葺き始め、葺き終わりのCFタイルは働き幅250mm以上入る様に割付を確認し、施工をしてください。
- ・葺き始め、葺き終わりのCFタイルの角を切り落として下さい。

■隅棟部



- ・葺き始め葺き終わりのケラバ、流れ壁、谷部水切下側、隅棟水上側で250mm以上を確保して下さい。



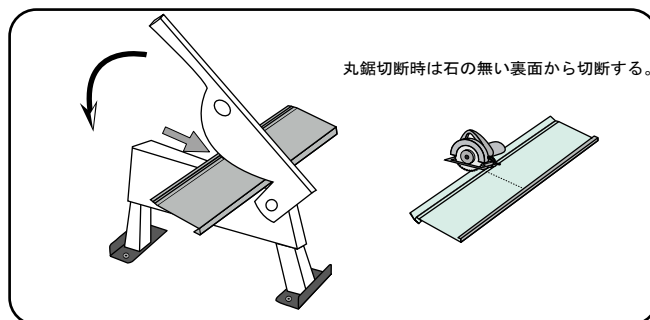
- ・隅棟部2段目以降の本体の鼻先を30mm程度「隅切り」をして下さい。

■CFタイルの切断方法



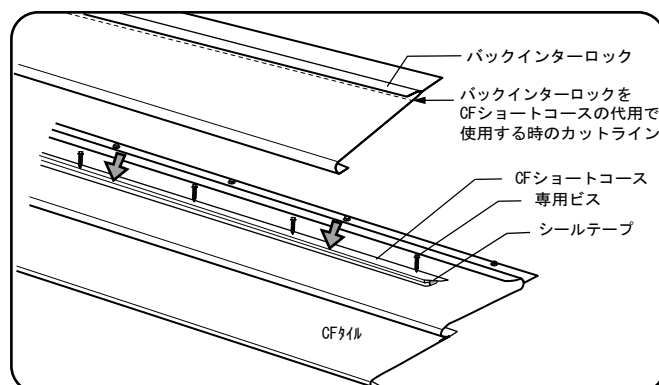
- ◇CFタイルの切断に電動丸鋸（高硬度チップソー）で切断する時は、必ず裏面から切断してください。
- ◇ディスクグラインダーで切断はしないでください。切断面が「焼ける」ため錆が発生しやすくなります。
- ◇パネルの切断にはハサミ類、または押し切りカッター（ギロチン）を使用する事をお勧めします。ガルバリウム鋼板の持つ“錆びにくい”特性を維持することが出来ます。

■切断方法

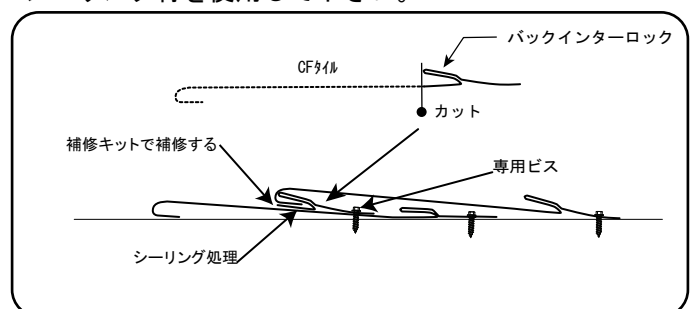


- ・専用カッターで切断する時は、CFタイルを切断位置に合わせ、前に押し出しながら切断して下さい。
- ・慣れるまでは一気に切断せず、潰し、前に送りながら少しずつ切断して下さい。
- ・縦切り、斜め切り、など切断が可能です。
- ・電動丸鋸（チップソー）で切断する時は、必ず石の無い裏面から切断作業をして下さい。

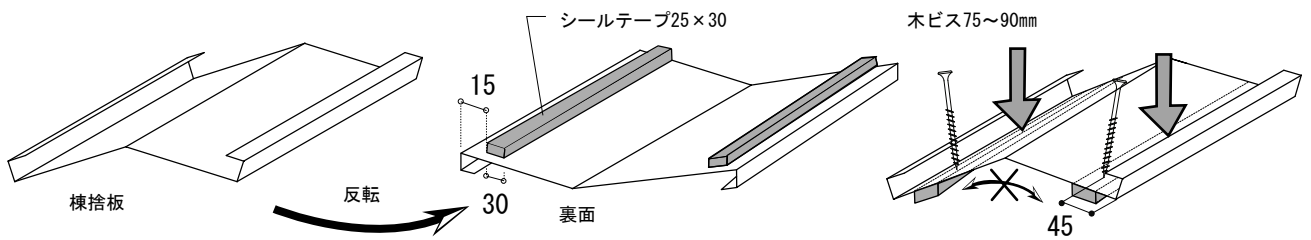
■CFタイルの働き幅の調整



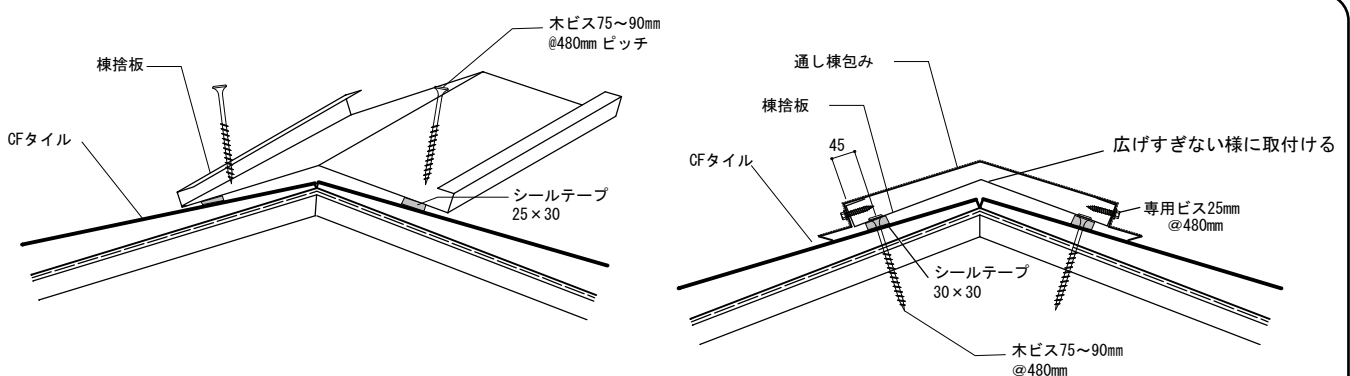
- ・働き幅調整にはCFショートコースを使います。シールテープを入れ専用ビスで取り付けして下さい。
- ・CFショートコースの代わりにバックインターロック部分で代用することが出来ます。シールテープの代わりにシーリング材を使用して下さい。



棟の施工（棟換気なしの場合）

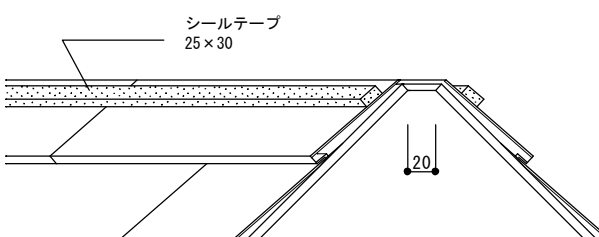


- CFタイルを棟芯まで施工して下さい。
- 棟捨板を反転させ端部より15mm程度内側に両側ともシールテープ30×30を貼り付けてください。
- シールテープ25×30を貼り終えた棟捨板を棟部に設置し、棟捨板を広げない様に押さえつけ、貼り付けたシールテープ25×30の中心を狙い木ビス75~90mmを使い分け@480mm間隔で固定します。

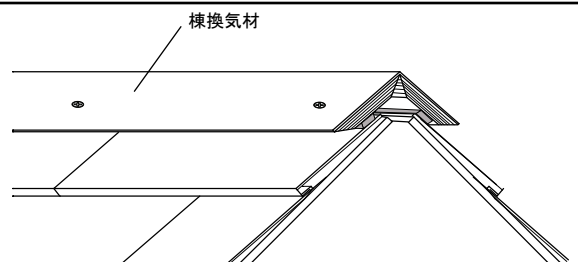


- 棟捨板を広げすぎない様に押さえ、状況に応じ木ビス75~90mmを使い分け@480mmの間隔で留めて下さい。

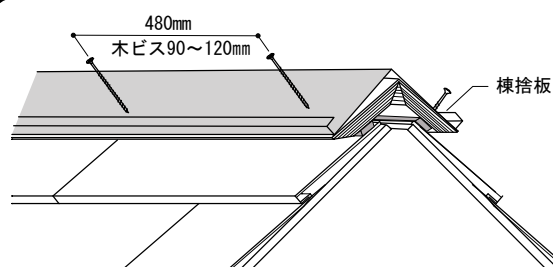
棟の施工（棟換気ありの場合）



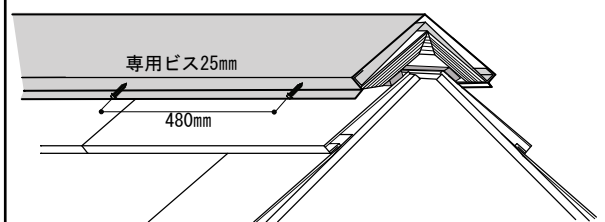
- 棟に25mmの開口部を開けます。
- CFタイルは棟開口部まで施工して下さい。
- 棟換気材に合わせてシールテープ25×30を棟の両側に貼り付けて下さい。



- 棟換気材を棟芯に合わせて設置し、仮留めして下さい。
- 仮留め方法及び注意事項等は各換気部材メーカーのマニュアルに準拠するものとします。



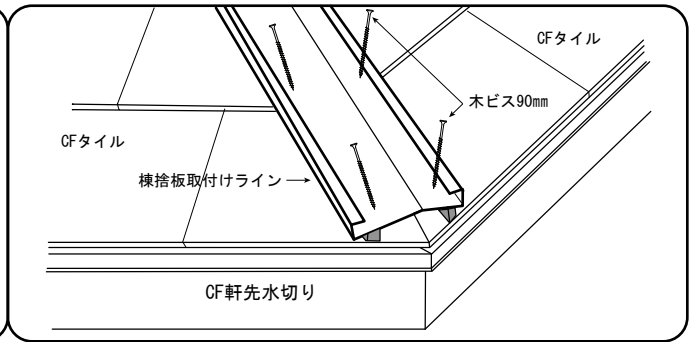
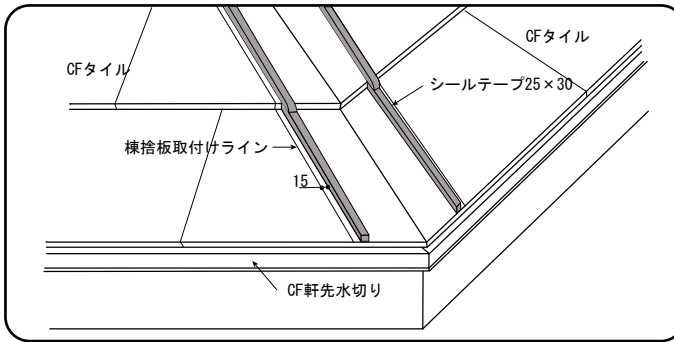
- 棟換気材の上に棟捨板を棟の左右に配置し棟捨板山分を絞る様にし押さえ、木ビス90~120mmで固定して下さい。



- 通し棟包みを棟捨板の上に被せ、専用ビス25mmで、480mmの間隔で左右から固定して下さい。

隅棟の施工

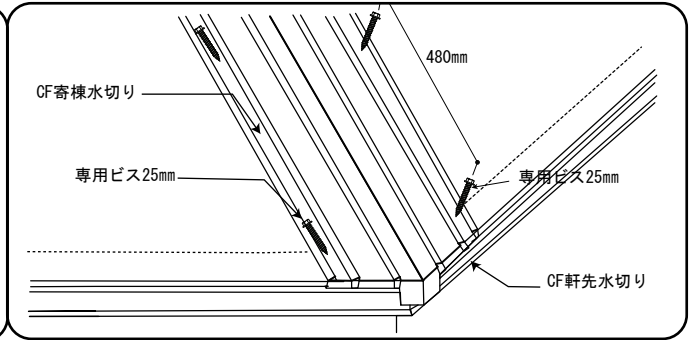
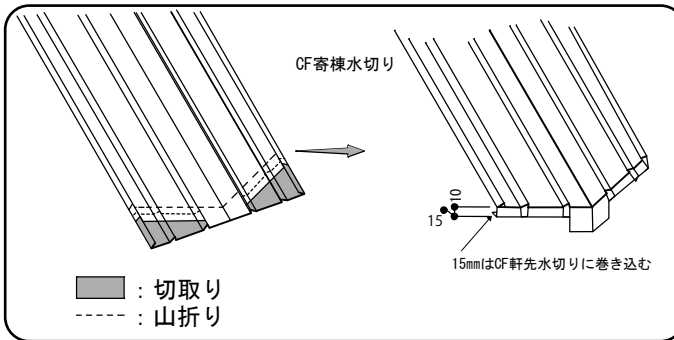
■CF寄棟水切りの取付け（標準施工）



・棟捨板取付けラインより15mmバックしシールテープ25×30を取り付けて下さい。

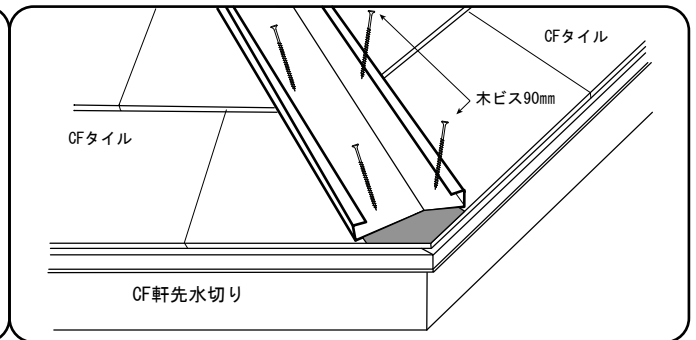
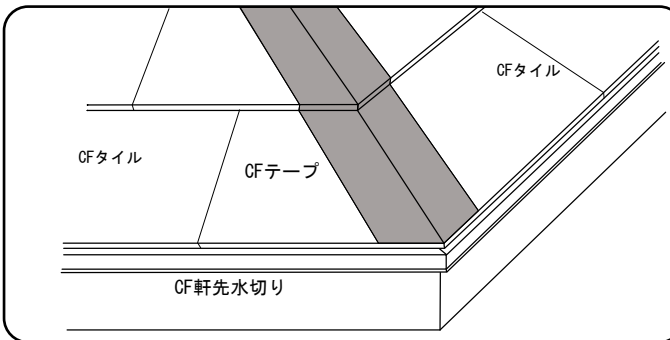
・棟捨板取付けラインに合わせて、木ビス90mmで棟捨板をCFタイルの段の高い位置に止めつけて下さい。

■CF寄棟水切りの取付け（オプション施工）



・通し棟包みを図の様に加工します。寸法は目安です。屋根勾配により変わります。

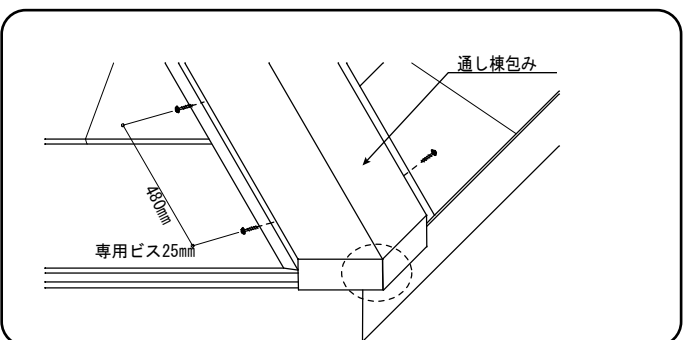
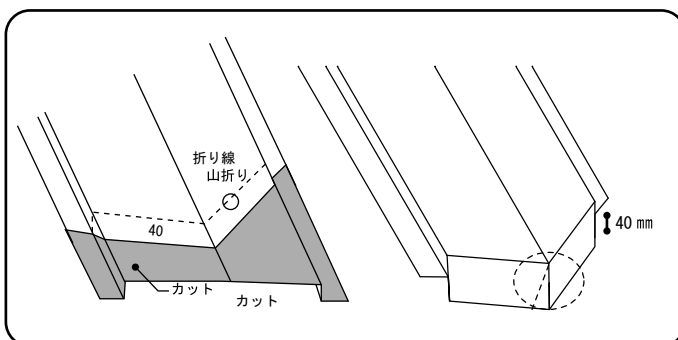
・CF寄棟水切りは専用ビス25mmで取り付けて下さい。
・後にCFタイルを葺いて下さい。



・CFタイル施工後、CFテープを隙間なく貼り付けてください。

・棟捨板取付けラインに合わせて、木ビス90mmで棟捨板をCFタイルの段の高い位置に止めつけて下さい。

■通し棟包みの加工

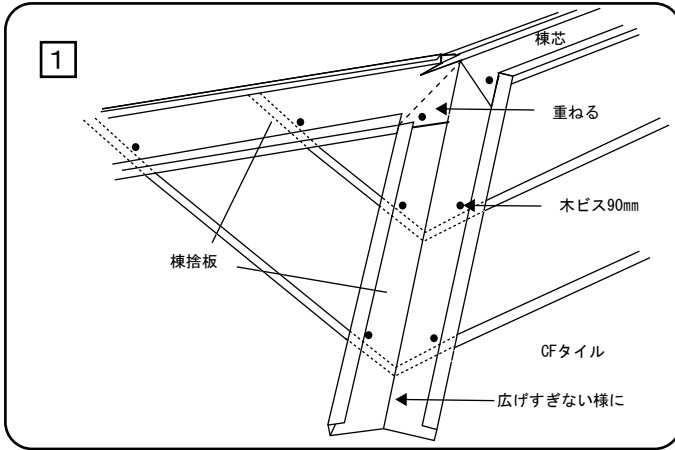


・通し棟包みは棟捨板へ専用ビス25mmで取り付けて下さい。

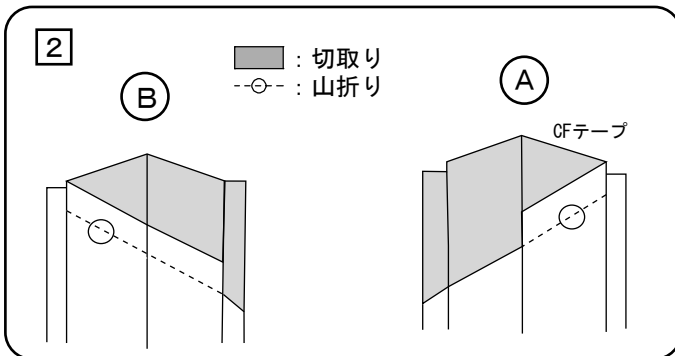
・先端部は左右の材料を重ね合わせ、取付後、補修キットで補修して下さい。（○部）



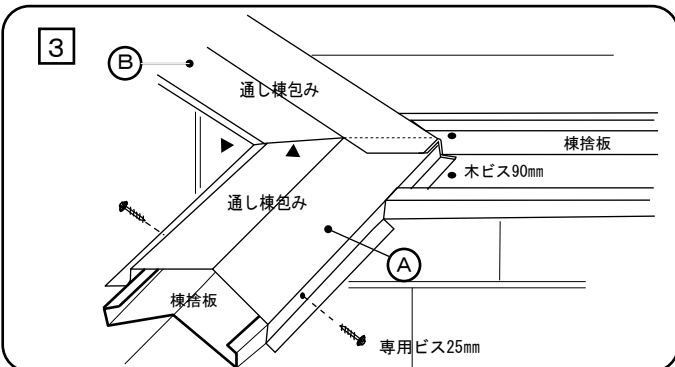
三ツ又部の施工



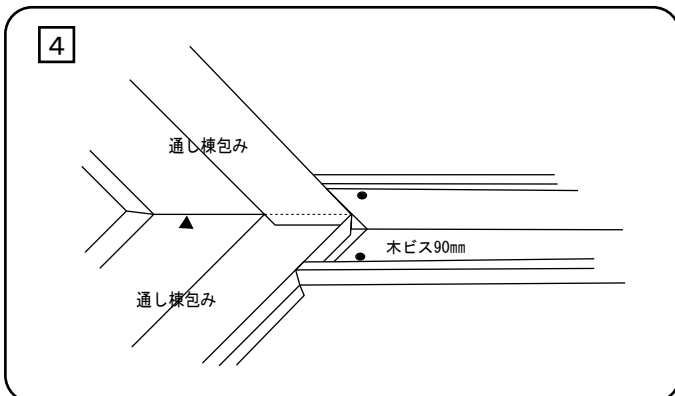
- ・CFタイルを棟芯まで施工します。
CFタイル各段の高い所へ木ビス75～90mmで取付けて下さい。
- ・この時CF棟捨板は広げすぎないように取り付けて下さい。
- ・棟芯付近のCF棟捨板は重ねて取り付けて下さい。



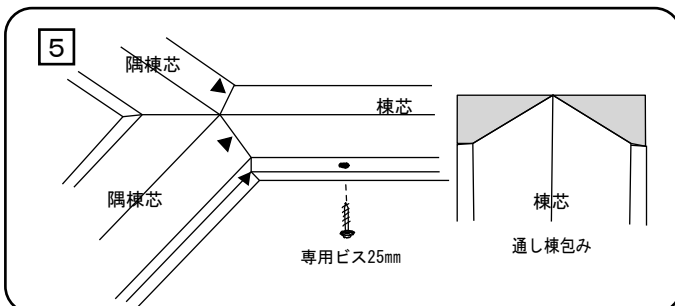
- ・通し棟包みを図の様に加工して下さい。
(この加工は一般的な加工方法です)



- ・AとBを各々に棟捨板にはめ込み専用ビス25mmで480mmの間隔で固定して下さい。
- ・重ね合わせ部は(▲部)は補修キットで補修して下さい。
- ・棟部棟捨板は、木ビス90mmで取付けて下さい。
- ・この時、棟捨板は広げすぎないように取り付けて下さい。



- ・重ね合わせ部は(▲部)は補修キットで補修して下さい。

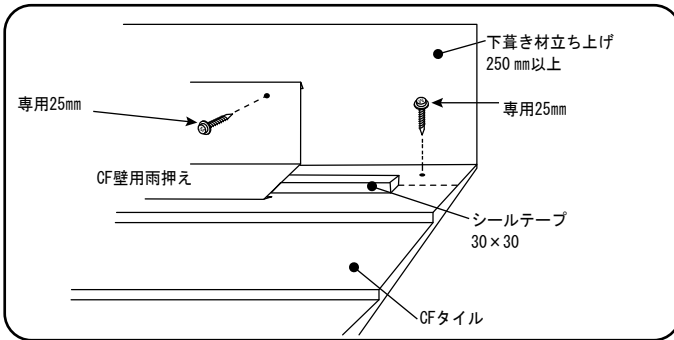


- ・通し棟包みを加工し棟捨板にはめ込み専用ビス25mmで480mmの間隔で固定して下さい。
- ・重ね合わせ部は(▲部)は補修キットで補修して下さい。



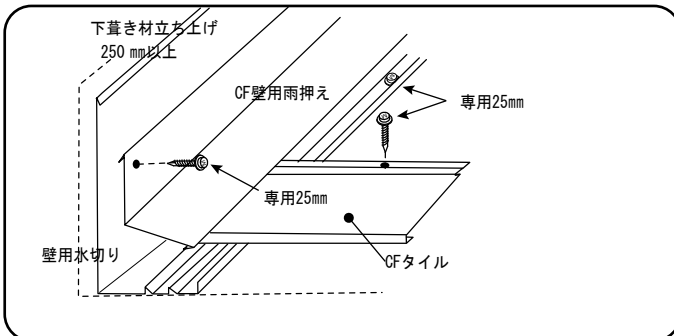
壁部の施工（標準納め）

■ 平行壁部の施工



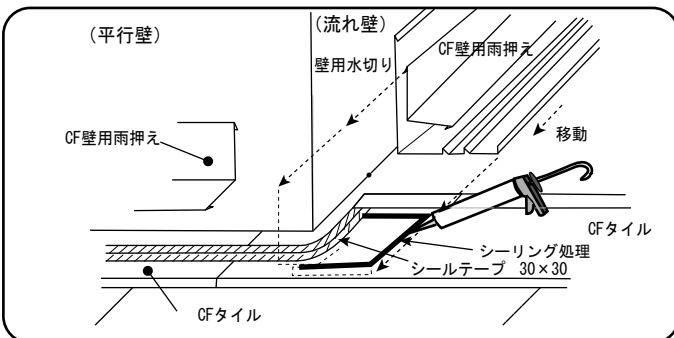
- ・ CFタイルを壁際まで施工して下さい。
- ・ CFタイルにシールテープ30×30を取り付けて下さい。

■ 流れ壁の施工



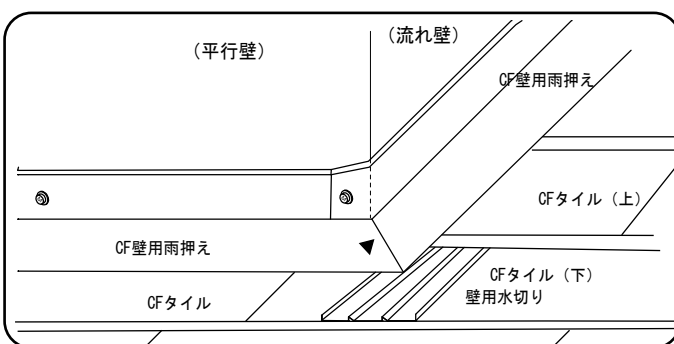
- ・ 雨押えを専用ビス25mmにて480mmの間隔で固定して下さい。

■ 出隅部の納め



- ・ 壁用水切りの出口付近は十分にシーリング処理をして下さい。
- ・ 平行壁用に施工するシールテープ 30×30を図の様に入れ、壁水切りが乗る部分はシーリング処理をして下さい。

■ 出隅部の仕上

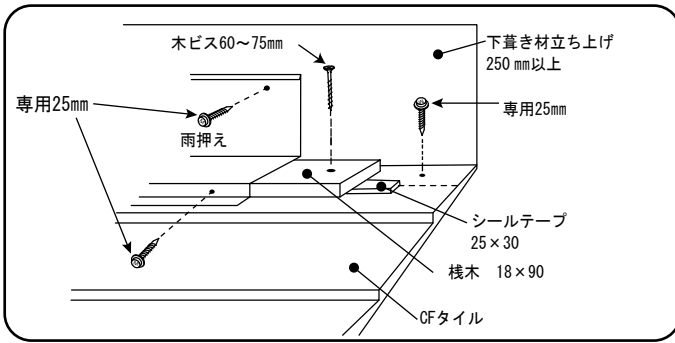


- ・ 下の段CFタイルの上に壁用水切りを設置し、上の段のCFタイルを葺いてから、CF壁用雨押えを取り付けて下さい。
- ・ 取付後（▲部）は補修キットで補修して下さい。



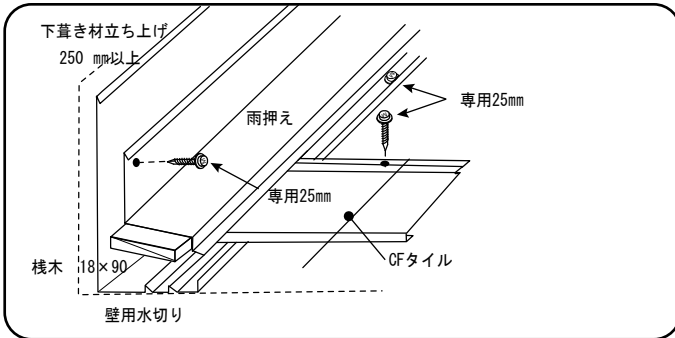
壁部の施工（オプション納め）

■ 平行壁部の施工



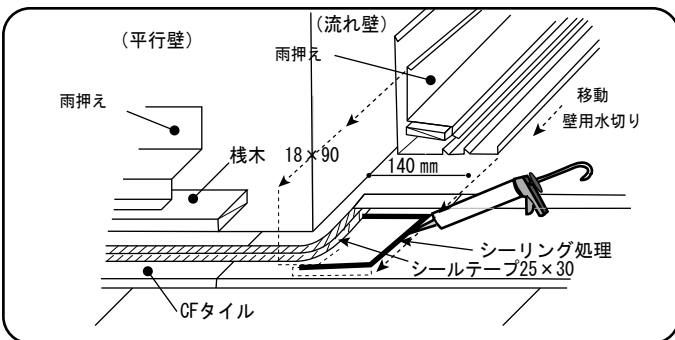
- ・CFタイルを壁際まで施工して下さい。
- ・CFタイルにシールテープ25×30を取り付け、その上に桟木18×90を設置し、木ビス60~75mmで480mmの間隔で止めて下さい。

■ 流れ壁の施工



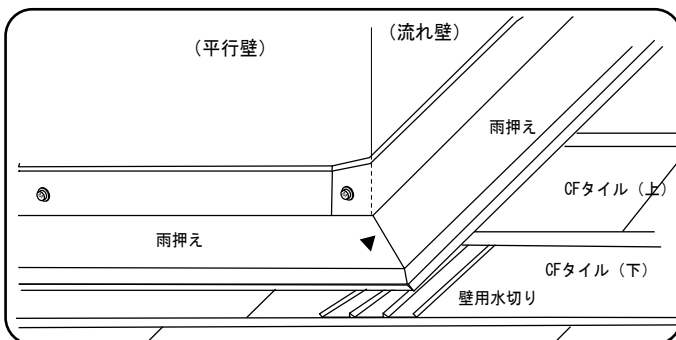
- ・雨押えを専用ビス25mmにて480mmの間隔で固定して下さい。

■ 出隅部の納め



- ・壁用水切りの出口付近は十分にシーリング処理をして下さい。
- ・平行壁用に施工するスレートシールテープ25×30を図の様に、壁水切りが乗る部分はシーリング処理をして下さい。

■ 出隅部の仕上

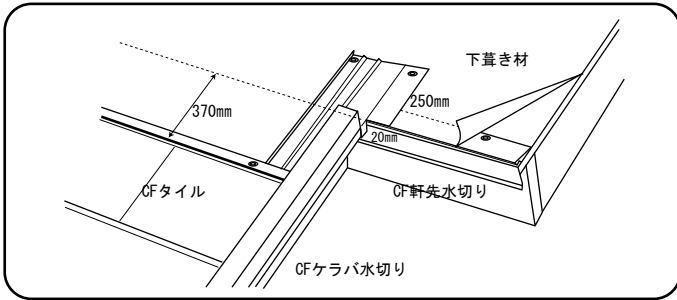


- ・下の段CFタイルの上に壁用水切りを設置し、上の段のCFタイルを葺いてから、雨押えを取り付けて下さい。
- ・取付後（▲部）は補修キットで補修して下さい。



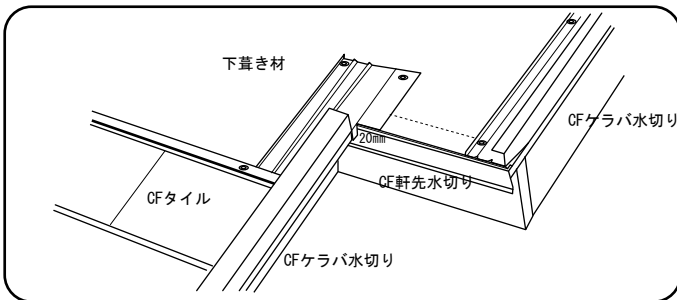
すがり部の施工

■すがり部の施工



* 下段CFタイルのバックインターロックと右CF軒先水切り間が370mmの場合はそのまま施工できますが、働きが合わない場合は以下の施工方法で施工して下さい。

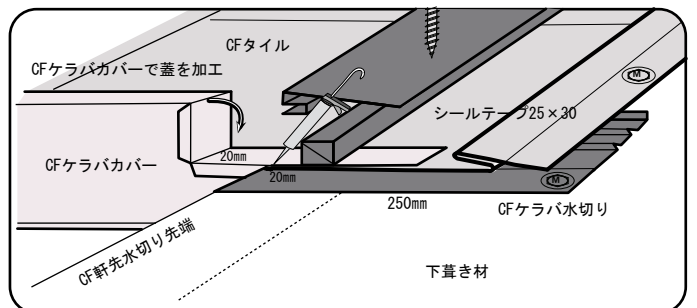
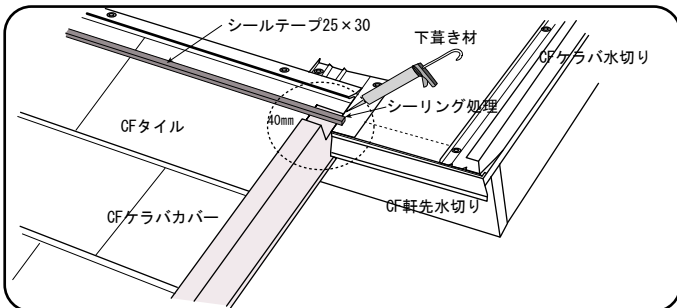
- ・CF軒先水切り取付後、下葦き材を葦き、CFケラバ水切りを取付、CFタイルをすがり付近まで葦いて下さい。(CFケラバ水切りはCF軒先水切りより250mm位水上方向へ申し取付ける)



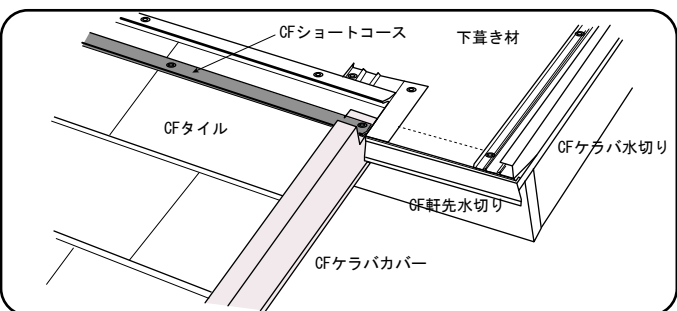
- ・右側CF軒先水切りを取付けて下さい。

- ・シールテープ25×30をCF軒先水切り先端より20mm上に入れて下さい。

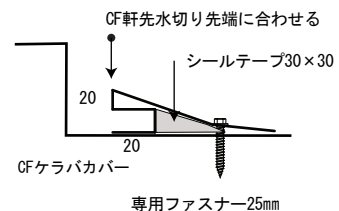
- ・CFケラバカバーで蓋を加工し取付けて下さい。



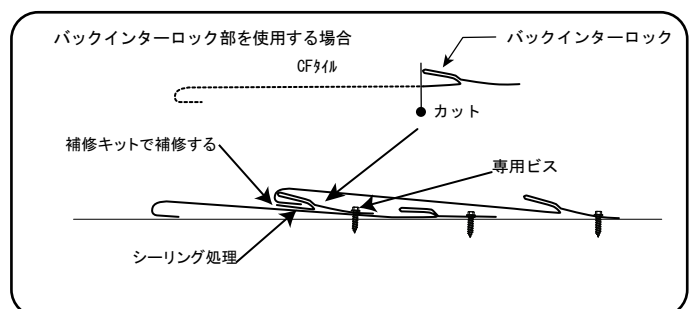
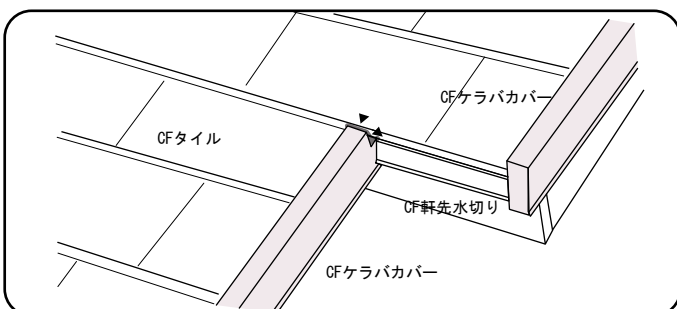
- ・CFタイルを葦き、CFケラバカバーを取付けて下さい。



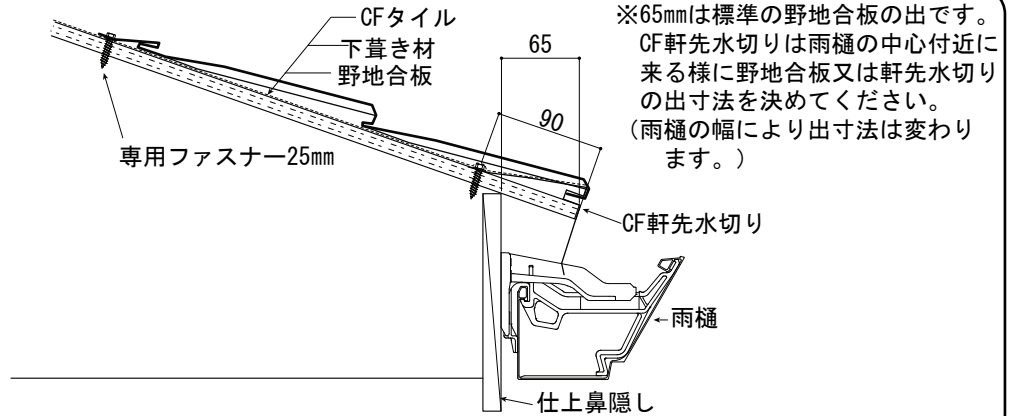
CFショートコースを使用する場合



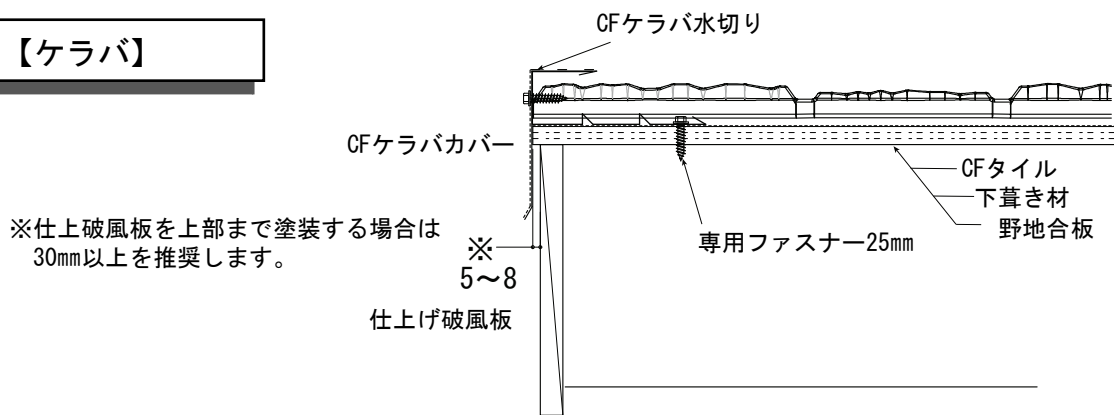
- ・▼部を補修キットで補修して下さい。



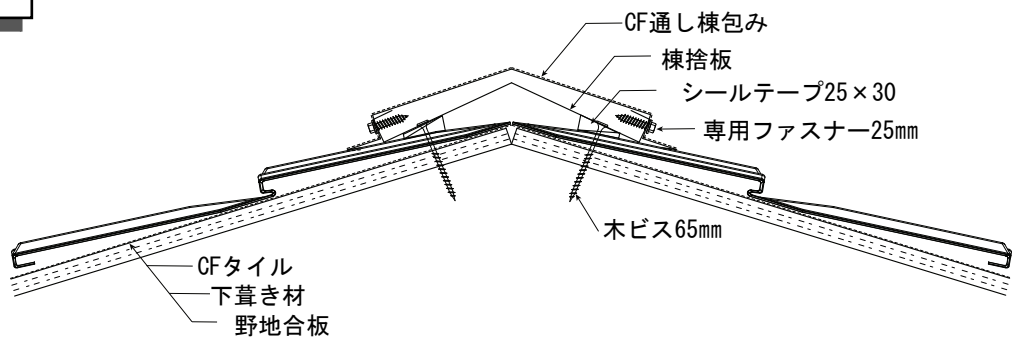
【軒先】



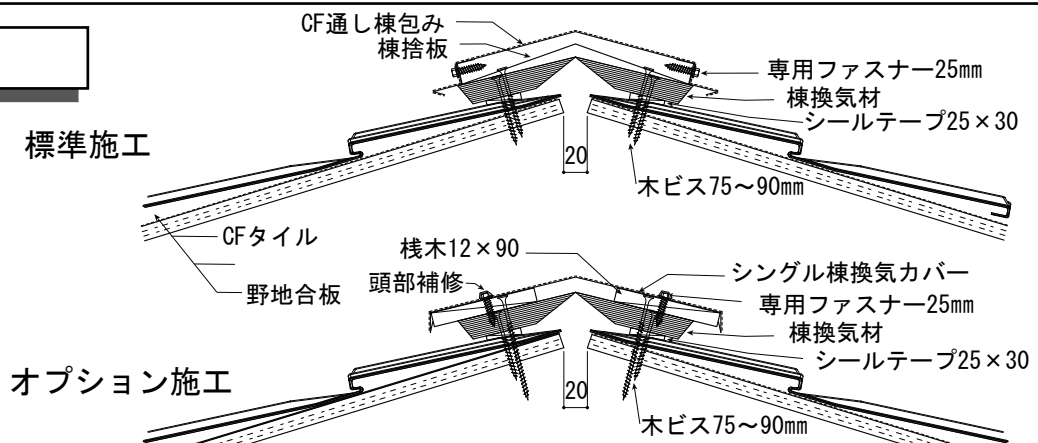
【ケラバ】



【陸棟・隅棟】

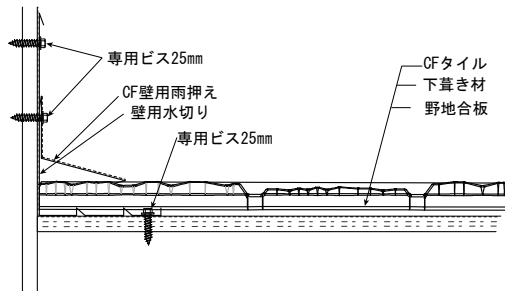


【棟換気】

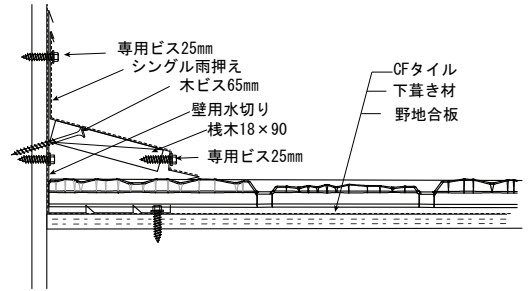


【流れ壁】

標準施工

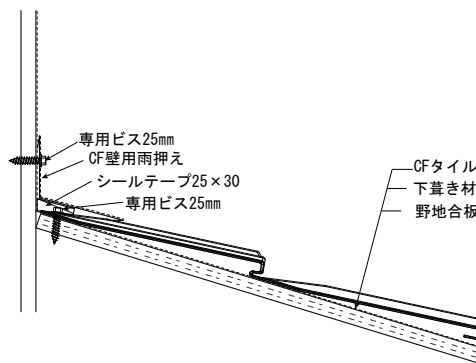


オプション施工

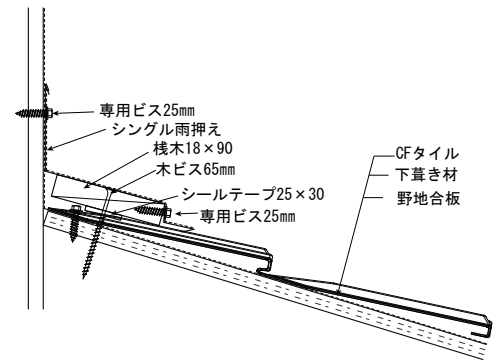


【平行壁】

標準施工

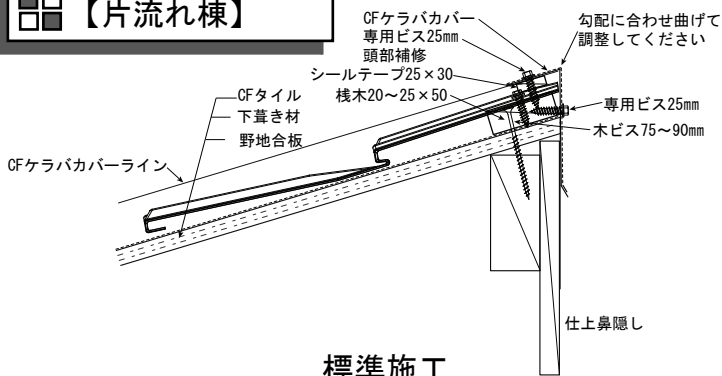


オプション施工

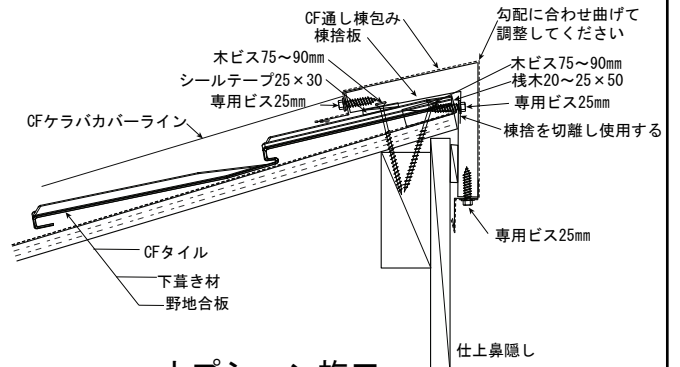


【片流れ棟】

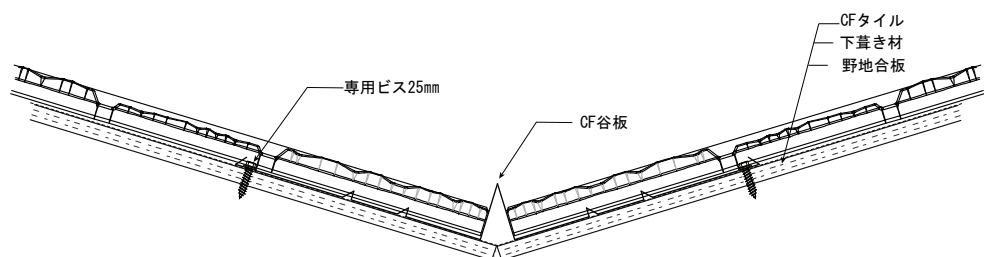
標準施工



オプション施工



【本谷】



■既存屋根の確認

◇既存屋根の雨漏りの経歴調査、野地板及び木下地等の劣化状況、腐食状況の確認を行い、下地材の補強の必要性、既存屋根材の撤去の必要性等について、十分に検討してください。
既存下地に問題なければカバー工法で施工が可能です。

■既存屋根の付属物の撤去

◇アンテナ、雨樋、雪止め金物等、施工の支障となる物はあらかじめ撤去してください。

■下地材の補強

◇“既存屋根の確認”の結果、補強が必要と判断した場合、CFタイルの下地材として、構造用合板12mm以上の使用を推奨します。

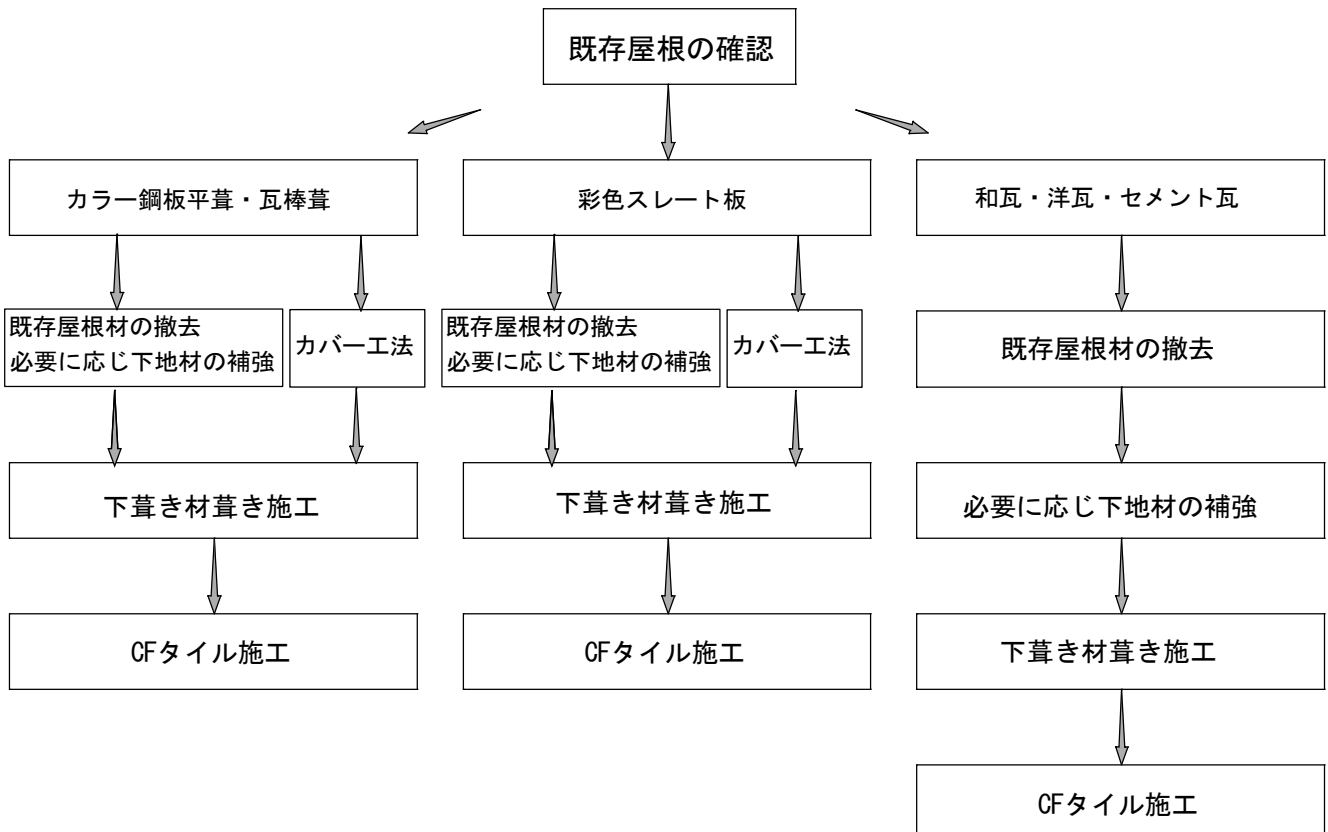
■アスファルトルーフィング

◇下葺き材はJIS A6005に適合するアスファルトルーフィング940以上、又は、アスファルトルーフィング工業会規格以上の改質アスファルトルーフィング、又は、片面粘着下葺き材を推奨します。

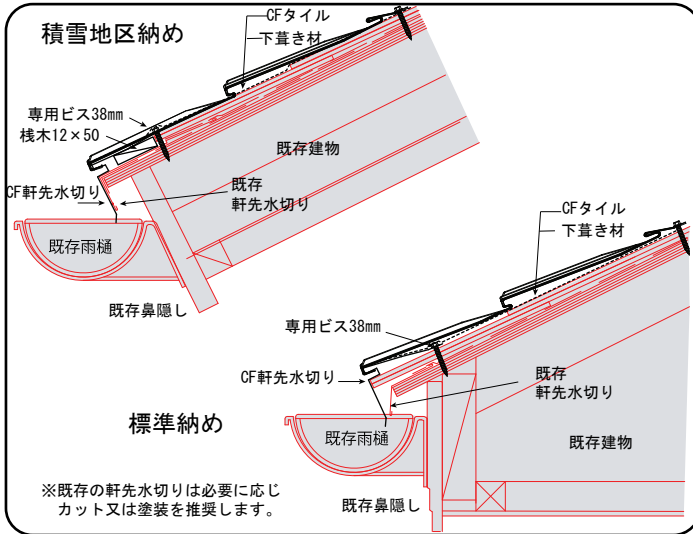
■オーナー様への説明

◇使用する材料、施工方法、仕上がり等をあらかじめ十分にオーナー様に説明して、理解していただく必要があります。

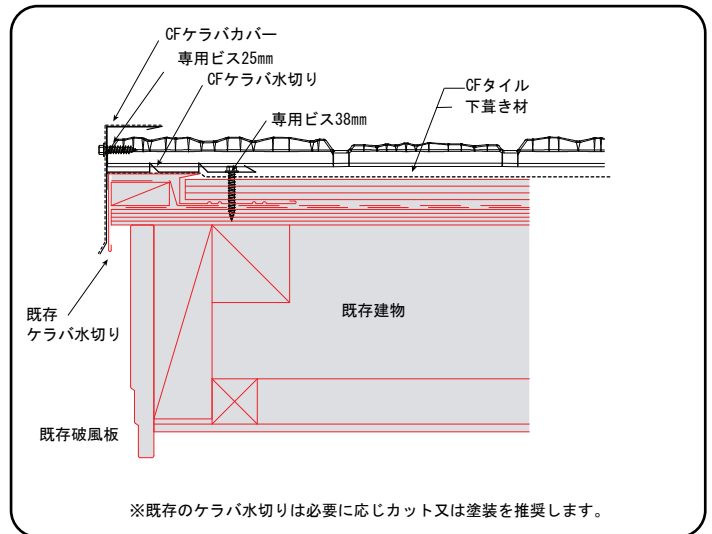
☐ 施工の流れ



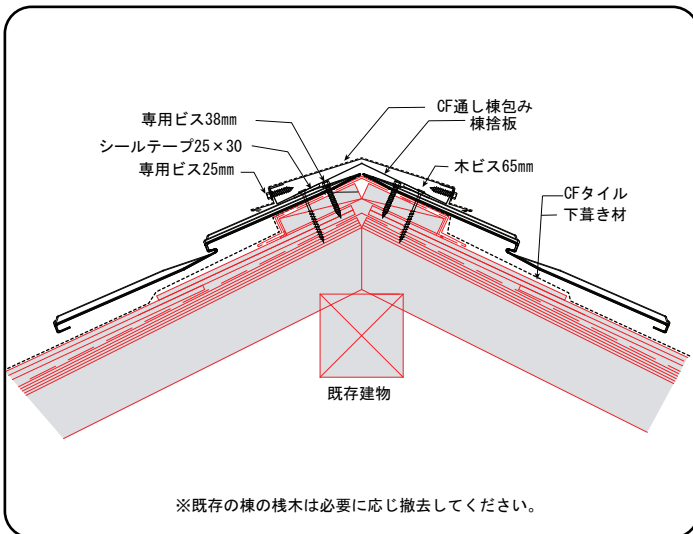
【軒先部】



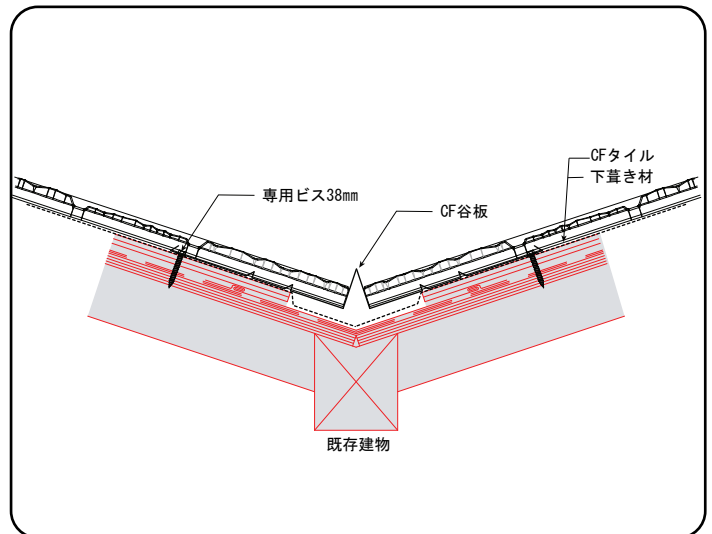
【ケラバ】



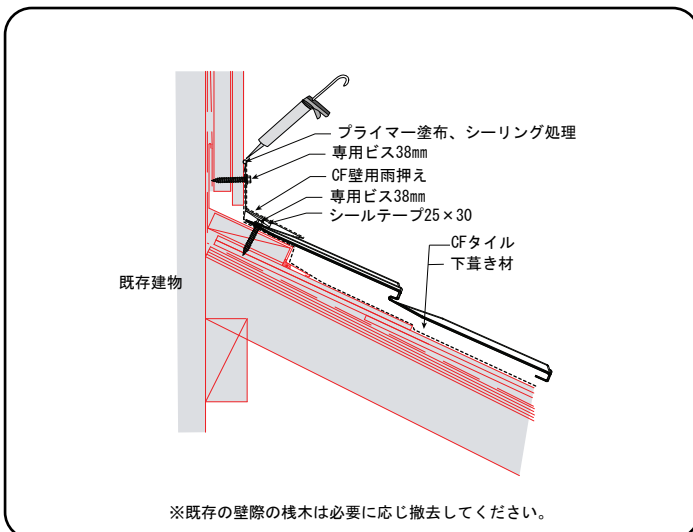
【陸棟・隅棟】



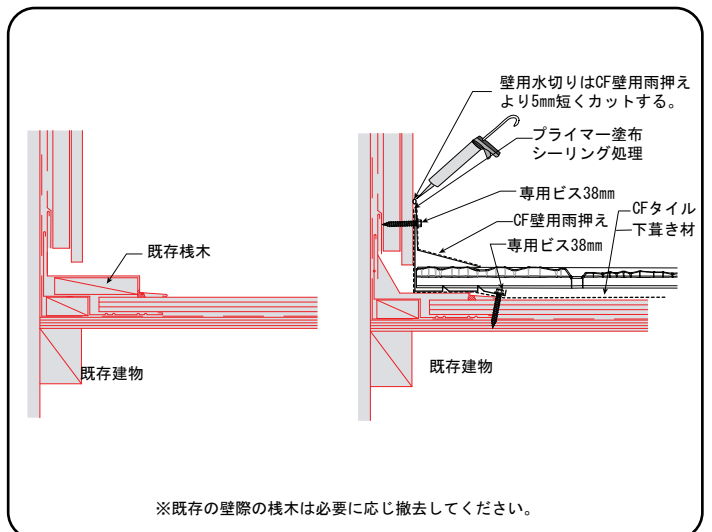
【本谷】



【平行壁】



【流れ壁】



【雪止め金具の設置基準】

■雪止め金具の設置について

CFタイル表面には石粒が塗布されています。そのため摩擦係数が非常に高く一般地域では雪止め金具を必要としないほどですが、落雪防止の観点から万能ではありません。必要に応じ雪止め金具を設置してください。

- ・新築時、申請する建築物は軒先が隣地境界より1.1m以上離れる様、検討して下さい。
1.1m未満の場合は雪止め金具の設置を検討して下さい。
 - ・新築時、各市町村の条例に従い取付を検討して下さい。
 - ・リフォーム時、各市町村の条例に従い取付を検討して下さい。
 - ・リフォーム時、軒先が隣地境界に近い時、設置を推奨します。
 - ・リフォーム時、軒先が隣地境界に近く、駐車場等に面してる時、設置を推奨します。
 - ・諸事情により、急勾配の屋根面全体に雪止金具を設置する時、別途検討が必要となります。
- ※ご不明な点がございましたら株式会社ルーフタイルグループジャパンまでご連絡ください。

■雪止め金具設置基準

- ・雪止め金具1段を455mmピッチで取付けた時、負担できる屋根流れ長さ (m)

	勾配	角度	積雪深さ (m)							
			0.5	0.8	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5
CFタイル	3	16.7	16.0	10.0	8.0	5.3	4.0	3.2	2.7	2.3
	4	21.8	8.3	5.2	4.1	2.8	2.1	1.7	1.4	1.2
	4.5	24.2	6.7	4.2	3.4	2.2	1.7	1.3	1.1	1.0
	5	26.6	5.7	3.6	2.9	1.9	1.4	1.1	1.0	0.8
	5.5	28.8	5.0	3.1	2.5	1.7	1.3	1.0	0.8	0.7
	6	31.0	4.5	2.8	2.2	1.5	1.1	0.9	0.7	0.6
	7	35.0	3.8	2.3	1.9	1.3	0.9	0.8	0.6	0.5
	8	38.7	3.3	2.0	1.6	1.1	0.8	0.7	0.5	0.5
	9	42.0	3.0	1.8	1.5	1.0	0.7	0.6	0.5	0.4
	10	45.0	2.7	1.7	1.4	0.9	0.7	0.5	0.5	0.4

■表の見方

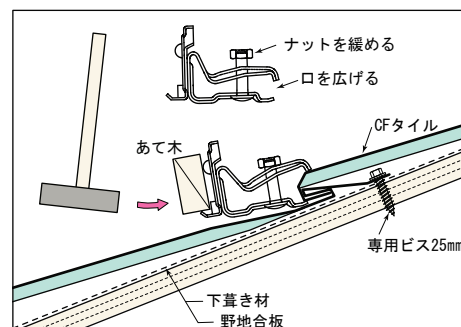
例 4寸勾配で、積雪深さ1.0mの場合。
1段455mmピッチで取付けた場合は、流れ長さ4.1mまで負担できます。
又は910mmピッチの千鳥状に取付けて下さい。

■雪止め金具の取付

- ・雪止め金具のナットを緩め、口を広げて下さい。
- ・下爪を差し込み、あて木をあて、ハンマー等で軽く叩き奥深くまで入れて下さい。
- ・雪止め金具を抑えながら、ナットを締め付けて下さい。
トルク目安 20 N・m以上

■注意

- ・締め過不足にご注意ください。
トルクレンチで締め付けトルクを確認してください。



次世代屋根材の明日を創造するティルコアルーフィングシステム



株式会社 鶴弥

本社 〒475-8528 愛知県半田市州の崎町2番地12
TEL.0120-817-268 ホームページ:www.try110.com

営業部 TEL.0569-29-4999 FAX.0569-28-5566 (東京・関東)
北陸支店 〒932-0136 富山県小矢部市平田3102番地
TEL.0766-69-1268 FAX.0766-69-7268
仙台営業所 〒983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野5丁目3番地の35
TEL.022-254-1580 FAX.022-254-1581



お問い合わせ先

株式会社 ルーフタイルグループジャパン

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町 3 - 8

第2紀尾井町ビル7階

電話 03-3264-8701

FAX 03-3264-8726

E-mail info@rooftg.com

ご使用に際して

- CFシングル本来の性能を発揮するためには、工事専門業者による施工が必要です。
- 寒冷地・積雪地・強風地域などでは、特殊な工事を必要とする場合があります。詳しくはお問い合わせください。
- 商品改良の為、予告なく変更する場合があります。